

# 福岡市障がい児・者等実態調査 報告書

平成 29 年 3 月  
福岡市



## ＜目 次＞

<b>第 1 章</b>	<b>調査の概要</b>	<b>1</b>
1	調査の目的	1
2	調査の設計と回収（実施）状況	1
3	調査結果利用上の注意①（全調査共通）	2
4	調査結果利用上の注意②（身体障がい者調査、知的障がい者調査のみ）	2
<b>第 2 章</b>	<b>福岡市の障がい児・者等の概況</b>	<b>3</b>
1	身体・知的障がいの概況	3
2	身体障がいの状況	4
	（1）身体障がいの種別（主な障がいの部位）	4
	（2）身体障がいの程度（身体障害者手帳の等級）	5
	（3）身体障がい児・者の性・年齢構成	6
3	知的障がいの状況	7
	（1）知的障がいの程度（療育手帳の判定）	7
	（2）知的障がい児・者の性・年齢構成	8
4	精神障がいの状況	9
	（1）精神障がい者の定義	9
	（2）現住所が福岡市にある精神障がい者数（精神障がい者調査（一次調査結果）より）	9
5	発達障がいの状況	11
6	難病の状況	12
<b>第 3 章</b>	<b>調査結果の概要と考察</b>	<b>13</b>
1	調査の特徴	13
2	調査結果の考察	13
	（1）乳幼児期の真の家族支援を保障できる地域づくり	13
	（2）幼児期から学校や職場など日中活動の充実を	14
	（3）地域社会での生活にこだわり、市民との繋がりを大切にする施策	14
	（4）障がい当事者が相談したり、学んだりする友人を増やし、多様な学びの機会を保障	15
	（5）一人の人間としての多様な関係性の保障	15
	（6）個々のコミュニケーション支援の重視	15
	（7）相談機能の機能強化と統合化	15
	（8）地域移行や定着支援	16
	（9）子どもや成人への共通の支援と障がい児・者に特有の支援の棲み分け	16
	（10）すべての障がい児・者の地域生活を保障する相談支援体制の構築	16
3	調査対象者の基本属性や障がいの状況	16
4	生活状況	17
	（1）住まいと同居家族	17
	（2）同居家族の状況	17
	（3）主な介助者の平均年齢	17
	（4）深夜介助	17
	（5）世帯の課税状況	17
	（6）主な収入	17

5	日中の活動状況と就労の課題	18
(1)	障がい児の日中活動	18
(2)	療育・教育について	18
(3)	育児に関する相談相手	18
(4)	障がい者の就労の状況	18
(5)	日中活動の場及び就労支援	20
(6)	精神障がい者の日中活動の場	20
6	地域生活について	20
(1)	外出の状況	20
(2)	外出時に必要な支援	20
(3)	コミュニケーションの支援	21
(4)	地域との関わり	21
(5)	福祉サービスの利用	21
(6)	相談窓口の利用状況	22
7	今後の障がい者の生活や必要な支援について	22
(1)	今後の暮らし	22
(2)	自宅や地域での生活の必要条件	22
8	災害対策について	22
9	障がい者に対する差別について	22
10	障がい者支援として望むこと	23
(1)	障がい者施策として市に力を入れてほしいこと	23
11	障がい者への福祉サービスを提供する事業所等の状況	23
(1)	事業所の状況	23
(2)	事業所の課題と今後の方向性	23

<b>第4章 身体障がい者調査</b>	<b>25</b>
---------------------	-----------

1	基本属性	25
2	障がいの状況について	26
(1)	身体障がい者手帳の等級、身体障がいの部位	26
(2)	知的障がい、精神障がいとの重複状況	29
(3)	障がい支援区分の認定状況、判定	30
(4)	要介護認定の認定状況、判定（40歳以上）	30
3	生活状況について	31
(1)	住まいの形態	31
(2)	同居家族の状況	32
(3)	主な介助者の状況	33
(4)	深夜帯に必要な介助・対応	35
(5)	世帯の課税状況	35
(6)	主な生活費	36
4	外出の状況について	37
(1)	外出時に必要な介助	37
(2)	外出の頻度	38
(3)	主な外出先	39
(4)	外出時の移動手段	40
(5)	外出時に不便や困難を感じる事	41
5	コミュニケーションについて	43
(1)	利用しているコミュニケーション支援	43
(2)	コミュニケーションで困っていることの有無	44
(3)	コミュニケーションで困っていること	45
6	就労の状況について	46

(1) 就労の有無、就労形態	46
(2) 仕事を探した方法	48
(3) 月収	49
(4) 働いたことがない理由	50
(5) 仕事をやめた原因	51
(6) 就労意向	52
(7) 障がい者の就労に対する社会の理解度	53
(8) 障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由	54
(9) 障がい者の就労支援として必要なこと	55
7 福祉サービスの利用について	57
(1) 福祉サービスの利用状況	57
(2) 福祉サービスの利用意向	58
(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無	59
(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス	60
8 今後の暮らし方について	62
(1) 希望する今後の暮らし方	62
(2) 自宅や地域で生活するために必要な条件	64
9 情報収集や相談について	67
(1) 福岡市からの情報で知りたいこと	67
(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先	69
(3) 困っていることや心配なこと	71
(4) 相談窓口の認知度	72
(5) 相談窓口の利用状況	74
(6) 相談窓口の満足度	75
10 地域とのかかわりについて	76
(1) 近所の方との関係	76
(2) 地域行事への参加状況	77
11 防災について	78
(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと	78
(2) 災害への備え	79
(3) 災害時に頼れる人	81
(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度	82
12 福祉施策全般について	83
(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験	83
(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容	85
(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと	87
(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと	90
(5) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと	92
(6) 福岡市の暮らしやすさ	93

<b>第5章 知的障がい者調査</b>	<b>95</b>
---------------------	-----------

1 基本属性	95
2 障がいの状況について	96
(1) 療育手帳の判定	96
(2) 身体障がい、精神障がいとの重複状況	97
(3) 障がい支援区分の認定状況、判定	98
(4) 要介護認定の認定状況、判定（40歳以上）	98
(5) 身体障がい者手帳所持者の主な身体障がいの部位	99
3 生活状況について	100
(1) 住まいの形態	100
(2) 同居家族の状況	101
(3) 主な介助者の状況	102

(4) 深夜帯に必要な介助・対応	103
(5) 世帯の課税状況	104
(6) 主な生活費	105
4 外出の状況について	106
(1) 外出時に必要な介助	106
(2) 外出の頻度	107
(3) 主な外出先	108
(4) 外出時の移動手段	109
(5) 外出時に不便や困難を感じる事	110
5 コミュニケーションについて	112
(1) 利用しているコミュニケーション支援	112
(2) コミュニケーションで困っていることの有無	114
(3) コミュニケーションで困っていること	115
6 就労の状況について	116
(1) 就労の有無、就労形態	116
(2) 仕事を探した方法	117
(3) 月収	119
(4) 働いたことがない理由	120
(5) 仕事をやめた原因	121
(6) 就労意向	121
(7) 障がい者の就労に対する社会の理解度	122
(8) 障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由	123
(9) 障がい者の就労支援として必要なこと	124
7 福祉サービスの利用について	125
(1) 福祉サービスの利用状況	125
(2) 福祉サービスの利用意向	126
(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無	127
(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス	128
8 今後の暮らし方について	129
(1) 希望する今後の暮らし方	129
(2) 自宅や地域で生活するために必要な条件	130
9 情報収集や相談について	132
(1) 福岡市からの情報で知りたいこと	132
(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先	133
(3) 困っていることや心配なこと	135
(4) 相談窓口の認知度	136
(5) 相談窓口の利用状況	138
(6) 相談窓口の満足度	139
10 地域とのかかわりについて	140
(1) 近所の方との関係	140
(2) 地域行事への参加状況	141
11 防災について	142
(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと	142
(2) 災害への備え	143
(3) 災害時に頼れる人	145
(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度	146
12 福祉施策全般について	147
(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験	147
(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容	148
(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと	150
(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと	152
(5) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと	155
(6) 福岡市の暮らしやすさ	156

<b>第6章 障がい児調査</b>	<b>157</b>
-------------------	------------

1	基本属性	157
2	障がいの状況について	158
	(1) 身体障がいの状況（身体障がい者手帳の有無・等級、身体障がいの部位）	158
	(2) 知的障がいの状況（療育手帳の有無・判定、障がいの診断名）	161
	(3) 精神障がいの状況（精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級）	162
	(4) 障がいの状況（身体・知的障がい等の重複状況）	163
3	世帯の状況について	164
	(1) 住まいの形態	164
	(2) 同居家族の状況	165
	(3) 主な介助者の状況	167
	(4) 深夜帯に必要な介助・対応	168
	(5) 世帯の課税状況	169
4	障がいについて	170
	(1) 障がいに気づいたきっかけ	170
	(2) 相談、診察、検査を求めた機関	171
	(3) 障がいがあった年齢	172
	(4) 障がいの診断・判定を受けた頃の苦労、悩み、不安	173
5	療育や保育・教育について	174
	(1) 療育や訓練を受けた経験	174
	(2) 療育や訓練で利用した（利用している）施設	175
	(3) 療育や訓練に対する希望	176
	(4) 通園・通学先	177
	(5) 通園・通学で困っていること	179
	(6) 通園・通学先に望むこと	180
	(7) 将来の希望する就労形態	181
6	外出の状況について	182
	(1) 外出の頻度	182
	(2) 主な外出先	183
	(3) 外出時の移動手段	184
	(4) 外出時に不便や困難を感じることに	185
7	コミュニケーションについて	187
	(1) 利用しているコミュニケーション支援	187
	(2) コミュニケーションで困っていることの有無	189
	(3) コミュニケーションで困っていること	190
8	福祉サービスの利用について	191
	(1) 福祉サービスの利用状況	192
	(2) 福祉サービスの利用意向	193
	(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無	194
	(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス	195
9	今後の暮らし方について	197
	(1) 将来の暮らし方	197
	(2) 将来、家族と同居できない場合に希望する暮らし方	198
	(3) 自宅や地域で生活するために必要な条件	199
10	情報収集や相談について	201
	(1) 福岡市からの情報で知りたいこと	201
	(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先	203
	(3) 困っていることや心配なこと	205
	(4) 相談窓口の認知度	206
	(5) 相談窓口の利用状況	208
	(6) 相談窓口の満足度	209
	(7) 育児に関する相談相手	210

11	地域とのかかわりについて	211
	(1) 一緒に過ごしたり会話をする人	211
	(2) 地域の方とのつきあいの状況	212
12	防災について	214
	(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと	214
	(2) 災害への備え	215
	(3) 災害時に頼れる人	216
	(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度	218
13	福祉施策全般について	219
	(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験	220
	(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容	221
	(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと	223
	(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと	225
	(5) 障がい者支援として地域社会や企業に望むこと	227
	(6) 福岡市の暮らしやすさ	228

## 第7章 精神障がい者調査（入院患者調査：二次調査結果） 229

1	入院患者の基本属性	230
	(1) 性別・年齢・居住地区・障がい支援区分の認定状況	231
	(2) 保険の種類	232
	(3) 要介護認定の認定状況（40歳以上）	233
	(4) 収入源	234
	(5) 住まいの形態	235
	(6) 同居家族の状況	236
	(7) 家族の支援体制	237
	(8) 成年後見制度の利用状況	238
	(9) 利用している成年後見制度の詳細	239
	(10) 手帳の状況	240
2	患者の疾患や入院状況	242
	(1) 主な診断名	243
	(2) 初めて精神科・神経科を受診した年齢	244
	(3) 以前の入院経験の有無と入院回数	245
	(4) 前回の入院期間	246
	(5) 今回の入院期間	247
	(6) 再入院までの期間	248
	(7) 入院時の入院形態	249
3	患者の病状等	250
	(1) 現在の病状の程度	250
4	退院するために必要な条件等	251
	(1) 退院に向けて、必要な支援	251
	(2) 退院後、地域で生活するために必要な支援	252

## 第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果） 255

1	通院患者の基本属性	256
	(1) 性別・年齢・居住地区・障がい支援区分の認定状況	257
	(2) 保険の種類	258
	(3) 自立支援医療の利用	259
	(4) 要介護認定の認定状況（40歳以上）	260
	(5) 同居家族の状況	261
	(6) 主な介助者の状況	262
	(7) 深夜帯に必要な介助・対応	264



(8) 成年後見制度の利用状況	266
(9) 利用している成年後見制度の詳細	267
(10) 手帳の状況	268
2 患者の疾患や入通院状況	270
(1) 主な診断名	271
(2) 初めて精神科・神経科を受診した年齢	272
(3) 入院経験の有無・回数	273
(4) 前回の入院期間	274
(5) 退院からの経過期間	275
(6) 通院の状況	276
(7) 通院の頻度	277
3 患者の病状等	278
(1) 現在の病状の程度	279
(2) 患者本人が抱えている問題	280
4 日常生活や今後の暮らし方等について	282
(1) 地域で生活するために必要な支援	282
5 通院患者の状況	284
(1) 調査票（本人票）の記入者	286
(2) 精神保健福祉手帳の有無・持っていない理由	286
(3) 収入源	288
(4) 住まいの形態	289
(5) 主な日中の過ごし方	290
(6) 外出の頻度	291
(7) 外出時の移動手段	292
(8) 外出時に不便や困難を感じる事	293
(9) 就労状況、就労形態	295
(10) 仕事を探した方法	297
(11) 月収	299
(12) 事業主に病気のことを伝えていない理由	300
(13) 仕事上の困りごとや心配なことの有無	301
(14) 仕事上の困りごとや心配なこと	302
(15) 仕事を辞めた原因	303
(16) 働いたことがない理由	304
(17) 今後の就労意向	305
(18) 精神障がい者の就労に対する社会の理解度	306
(19) 精神障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由	307
(20) 精神障がい者の就労支援として必要なこと	309
6 福祉サービス等の利用について	310
(1) 福祉サービス等の利用状況・利用意向	310
(2) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス等の有無	313
(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス等	313
7 今後の暮らし方について	314
(1) 希望する今後の暮らし方	315
(2) 地域で生活するために必要な医療支援	316
(3) 自宅や地域で生活するために必要な条件	317
8 情報収集や相談について	319
(1) 福岡市からの情報で知りたいこと	320
(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先	321
(3) 困っていることや心配なこと	323
(4) 相談機関の認知度・利用状況	324
(5) 相談機関の満足度	326
9 地域との関わりについて	328
(1) 近所の方との関係	329

(2) 地域行事への参加状況	330
10 防災について	331
(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと	332
(2) 災害への備え	333
(3) 災害時に頼れる人	334
(4) 福岡市の安全・安心の為の社会環境整備の実感度	335
11 障がい者に対する差別について	336
(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験	336
(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容	337
12 障がい者福祉全般について	339
(1) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと	340
(2) 障がい者福祉施策として、国や県、市に力を入れてほしいこと	342
(3) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと	344
(4) 福岡市の暮らしやすさ	345

<b>第9章 発達障がい児・者調査</b>	<b>347</b>
-----------------------	------------

1 基本属性	347
2 障がいの状況について	348
(1) 療育手帳の有無・判定	348
(2) 精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級	349
(3) 発達障がいの診断の有無	350
(4) 発達障がいの診断を受けた機関	351
(5) 発達障がいの診断を受けた年齢	351
(6) 発達障がいの診断名	352
(7) 二次的な情緒や行動などの問題の有無	354
(8) 二次的な問題に関する相談機関や医療機関の利用状況	355
(9) 二次的な問題による福祉サービスの利用状況	355
3 生活状況について	356
(1) 通園・通学・就労等の状況	357
(2) 住まいの形態	358
(3) 同居家族の状況	359
(4) 主な介助者の状況	360
(5) 深夜帯に必要な介助・対応	361
(6) 世帯の課税状況	361
(7) 主な生活費	362
4 日中の過ごし方や外出の状況などについて	363
(1) 外出時に必要な介助	364
(2) 外出の頻度	365
(3) 主な外出先	366
(4) 外出時の移動手段	367
(5) 外出時に不便や困難を感じる事	368
(6) 利用しているコミュニケーション支援	370
(7) コミュニケーションで困っていることの有無	371
(8) コミュニケーションで困っていること	372
5 就労の状況について	373
(1) 就労の有無、就労形態	374
(2) 職場への障がいの報告	374
(3) 仕事上の困りごとや心配なことの有無	375
(4) 仕事上の困っていることや心配なこと	375
(5) 仕事を探した方法	376
(6) 月収	376
(7) 働いたことがない理由	377

(8)	以前就労していた時の就労形態	377
(9)	以前の職場への障がいの報告	377
(10)	仕事をやめた原因	378
(11)	発達障がい者の就労に対する社会の理解度	378
(12)	発達障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由	380
(13)	発達障がい者の就労支援として必要なこと	380
(14)	就労意向、希望する就労形態	382
6	利用したいサービス等について	383
(1)	必要なサービスや充実すべき施策	384
7	今後の暮らし方について	385
(1)	希望する今後の暮らし方	385
(2)	自宅や地域で生活するために必要な条件	387
8	情報収集や相談について	390
(1)	福岡市からの情報で知りたいこと	390
(2)	福岡市の福祉施策情報の入手先	392
(3)	困っていることや心配なこと	394
(4)	相談窓口の認知度	396
(5)	相談窓口の利用状況	398
(6)	相談窓口の満足度	399
9	地域とのかかわり・福祉施策全般について	400
(1)	近所の方との関係	400
(2)	地域行事への参加状況	401
10	防災について	402
(1)	地震などの災害発生時に困ることや不安なこと	402
(2)	災害への備え	403
(3)	災害時に頼れる人	404
(4)	福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度	405
11	福祉施策全般について	406
(1)	差別を受けたり、いやな思いをした経験	407
(2)	差別を受けたり、いやな思いをした内容	408
(3)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと	409
(4)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと	411
(5)	障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと	414
(6)	福岡市の暮らしやすさ	415

<b>第10章 難病患者調査</b>	<b>417</b>
--------------------	------------

1	基本属性	417
2	難病の状況について	418
(1)	疾患名	419
(2)	疾患が発症した年齢	420
(3)	疾患の診断がついた年齢	420
(4)	最近6ヶ月の医療機関の受療状況と入院期間等	421
(5)	通院する上での課題や不安に感じる事	422
(6)	人工呼吸器使用の有無	422
(7)	主な症状	423
(8)	身体障がいの状況（身体障がい者手帳の有無・等級、身体障がいの部位）	425
(9)	身体障がい者手帳を持っていない理由	428
(10)	知的障がいの状況（療育手帳の有無・判定）	428
(11)	精神障がいの状況（精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級）	428
(12)	障がい支援区分の認定状況、判定	428
(13)	要介護認定の認定状況、判定（40歳以上）	429
3	生活状況について	430

(1) 住まいの形態	430
(2) 同居家族の状況	431
(3) 主な介助者の状況	432
(4) 深夜帯に必要な介助・対応	433
(5) 世帯の課税状況	434
(6) 主な生活費	435
4 日中の過ごし方や外出の状況などについて	436
(1) 外出時に必要な介助	436
(2) 外出の頻度	437
(3) 主な外出先	438
(4) 外出時の移動手段	439
(5) 外出時に不便や困難を感じる事	440
(6) 利用しているコミュニケーション支援	442
(7) コミュニケーションで困っていることの有無	442
(8) コミュニケーションで困っていること	443
5 就労の状況について	444
(1) 就労の有無、就労形態	444
(2) 仕事を探した方法	446
(3) 月収	447
(4) 働いたことがない理由	447
(5) 仕事をやめた原因	448
(6) 就労意向	448
(7) 難病患者の就労に対する社会の理解度	449
(8) 難病患者の就労に対して社会の理解があると思わない理由	450
(9) 難病患者の就労支援として必要なこと	451
6 福祉サービスの利用について	452
(1) 難病患者が障がい福祉サービスの対象者となったことの認知度	452
(2) 福祉サービスの利用状況	453
(3) 福祉サービスの利用意向	454
(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無	454
(5) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス	455
(6) 医療型短期入所の認知度	456
(7) 医療型短期入所の必要性	456
7 今後の暮らし方について	457
(1) 希望する今後の暮らし方	457
(2) 自宅や地域で生活するために必要な条件	458
8 情報収集や相談について	460
(1) 福岡市からの情報で知りたいこと	460
(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先	461
(3) 困っていることや心配なこと	463
(4) 相談窓口の認知度	464
(5) 相談窓口の利用状況	465
(6) 相談窓口の満足度	466
9 地域とのかかわりについて	467
(1) 近所の方との関係	467
(2) 地域行事への参加状況	468
10 防災について	469
(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと	469
(2) 災害への備え	470
(3) 災害時に頼れる人	471
(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度	472
11 福祉施策全般について	473
(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験	473

(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容	475
(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと	476
(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと	478
(5) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと	480
(6) 福岡市の暮らしやすさ	481

## 第 11 章 事業者等状況調査 483

1 事業所の概要について	483
(1) 提供サービスの種類・数	483
(2) 職員数	484
2 障がい者福祉施策全般について	484
(1) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無	485
(2) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス	485
(3) 地域の人からあったらいい支援・交流の内容	486
(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと	487
(5) 障がい者支援として地域社会や企業に望むこと	488
3 相談支援事業について	489
(1) 専門としている障がい種別	489
(2) 相談支援専門員の職員数	490
(3) 相談支援の観点から不足している社会資源	490
(4) 相談支援を実施するうえでの課題	491
(5) 相談支援に関する利用者ニーズへの対応方法	491
(6) 相談支援の発展のために必要なこと	492
4 居宅介護等サービス全般について	493
(1) 居宅介護等サービス事業所で取り組むべきこと	493
5 行動援護、同行援護、移動支援について	494
(1) 行動援護・同行援護・移動支援で利用が多い外出内容	494
(2) 行動援護・同行援護・移動支援で認めるべきサービス	495
(3) 行動援護・同行援護・移動支援について不満に思うこと	495
(4) 行動援護の実施にあたり困難を感じることに	495
6 短期入所・日中一時支援について	496
(1) 短期入所・日中一時支援で空きがない場合の対応	496
(2) 短期入所・日中一時支援の課題	497
(3) 医療ケアのうち対応可能なもの	498
7 施設について	499
(1) 施設事業所の観点から不足している社会資源	499
(2) 施設サービスを提供するうえでの課題	500
(3) 施設入所者等が地域（在宅）で暮らすために必要なこと	501

## 第 12 章 自由意見 503

1 障がい者福祉全般に対する意見・要望	503
(1) 提出意見の概要	503

## 第 13 章 参考資料 507

1 身体障がい者調査	507
2 知的障がい者調査	519
3 障がい児調査	531
4 入院患者調査（精神障がい者調査）	543

5	通院患者調査（精神障がい者調査）	547
6	発達障がい児・者調査	561
7	難病患者調査	575
8	事業者等状況調査	589